

xSDG・ラボ

- xSDG Laboratory

開設: 2017年10月1日
 代表者: 蟹江 憲史(政策・メディア研究科教授)
 関連Web Site: <http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/xsdgl.html>
 連絡先: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス e205研究室 0466-49-5271

● 構成メンバー

蟹江 憲史	政策・メディア研究科教授:ラボ代表、統括
植原 啓介	環境情報学部准教授:ICT技術とSDG
加藤 文俊	環境情報学部教授:地域活性とSDG
袖野 玲子	環境情報学部准教授:指標とSDG
田中 浩也	環境情報学部教授:デジタルファブリケーションとSDG
村井 純	政策・メディア研究科委員長 / 環境情報学部教授:IoTとSDG
国谷 裕子	政策・メディア研究科特別招聘教授:SDGの実施、ラボの研究成果発信、情報発信
佐久間 信哉	政策・メディア研究科特任教授:地方自治体とSDG
小坂 真理	政策・メディア研究科特任講師:企業とSDG、持続可能な消費と生産
佐々木 剛二	SFC研究所上席所員:東京2020とSDG

● 目的

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、持続可能な地球社会への変革を「誰ひとり取り残さない」で実現するために、2015年9月の国連総会で採択された2030年へ向けた国際目標です。SDGsの特徴の一つは普遍性であり、発展途上国と先進国の別なく、あらゆる国や主体の取り組みが期待されています。例えば、企業活動や地方自治体などによる取り組み、消費や投資活動、IoTなど、世の中のいろいろな活動とSDGsを「掛け合わせる」=「×SDG」ことで、真に持続的な成長を実現する可能性を秘めています。

xSDG・ラボでは、多様で複雑な社会における問題解決をSDGsという切り口で実現するためのトランスディシプリナリーな研究を実施し、出版物やウェブサイト等をつうじて、積極的な成果発信することを目的としています。

● 研究活動計画の概要

- ・ SFCにおける研究活動をSDGsの観点から分析した「SDG的レポジトリ」の立ち上げ
- ・ 企業および組織団体を対象としたワークショップ開催等をつうじた共同研究案件の開拓
- ・ 教育活動をつうじた企業との連携(共同研究形式を検討)
- ・ オリンピック・パラリンピック競技大会における大会影響調査をテーマとしたジュネーブ大学との共同研究
- ・ ウェブサイトやSNS、シンポジウム、出版物をつうじた情報発信

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



xSDG・ラボはSDGsを支援しています

[2018年1月現在]